

Maker Faire Tokyo 2016 全プログラム発表！

Make × 宇宙、バイオ、アニメ、ドローン、VR.....
ものづくりの潮流とこれからはみえる

2016 年8 月6 日（土）、7 日（日）お台場・東京ビッグサイト

株式会社オライリー・ジャパン（本社: 東京都新宿区）は、2016 年8 月6 日（土）、7 日（日）の2 日間、東京・お台場の東京ビッグサイトにて開催する「Maker Faire Tokyo 2016」の全プログラムを発表いたしました。（詳細▷）

今回の「Maker Faire Tokyo 2016」出展者は約400組（前回約350組）。当日は出展者による展示や販売のほか、「Nerdy Derby（ナーディー・ダービー）」「ドローンレース」「ヘボコン」などの企画、近年注目を集める民間によるロケット開発やDIYバイオについてのプロジェクトをすすめている方々が登壇するトークセッションなどなどMaker Faireならではの多様な企画を実施します。

また、昨年好評だったMAKERSPACEもパワーアップ、さらに未来のMakerを育てる「Maker Classroom」「Tinkering Space for KIDS」などエデュケーション・プログラムが新しく登場します。「子どもプログラミングカフェ」をはじめとするワークショップなど参加型プログラムも充実。

夏休みの2日間、多くの方に足を運んでいただきたく、ぜひ貴媒体にて、ご紹介いただけますようお願い致します。

□ 実施概要

名称：Maker Faire Tokyo 2016（略称：MFT2016）

エレクトロニクス、ロボット、デジタルファブリケーション（3Dプリンター、レーザーカッターなど）、教育／キッズ、クラフト、アート／デザイン、VR、宇宙／航空／ドローン、バイオ／農業、Young Makers（学生出展）など約400 組が出展

会期：2016年8月6日（土）12:00～19:00、8月7日（日）10:00～18:00

会場：東京ビッグサイト（東京国際展示場）西2ホール+アトリウム

主催：株式会社オライリー・ジャパン

入場料：

<前売> 大人 1,000円、18歳以下 500円（税込）

<当日> 大人 1,500円、18歳以下 700円（税込）

*小学校未就学者、障がい者手帳所持者は本人及び付き添いの方お一人まで無料

ウェブサイト：<http://makezine.jp/event/mft2016>

ハッシュタグ：MakerFaireTokyo2016

□ Maker Faire Tokyo 2016の取材申し込みについて

取材申し込みについて下記よりフォームにご記入いただき登録ください。
当日受付にてプレスパスをお渡しいたします。

<http://makezine.jp/event/mft2016/press/>



■ 記事掲載に関するお問い合わせ

株式会社オライリー・ジャパン 広報担当: 大西 (pr@makejapan.org)

〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町12-22 VORT四谷坂町ビル1F

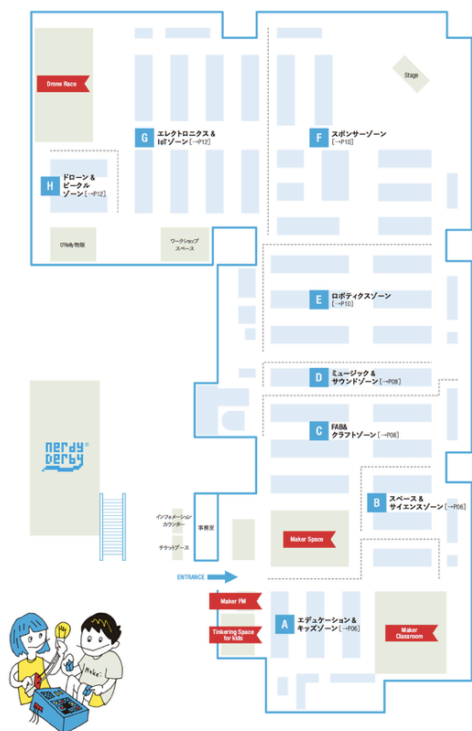
TEL: 03-3356-5227 FAX: 03-3356-5261

大人から子どもまで楽しめる世界最大のDIY イベント Maker Faire Tokyo 2016 について

今回の「Maker Faire Tokyo 2016」出展者は約400組。ロボットや最新の3Dプリンタ、レーザーカッターなどのパーソナルファブリケーション技術から、電子工作、航空・宇宙関係、自作楽器、クラフトなど多種多様。未来のMakerを育てるための「Maker Classroom」「Tinkering Space for KIDS」「子どもプログラミングカフェ」をはじめとするワークショップやエデュケーション・プログラムなど、夏休みということで家族で楽しめるコンテンツも盛りだくさんの内容です。

MAP

東京ビッグサイト 西2ホール



MAKERSPACE

未来のMakerへの楽しい第一歩

Maker Faire Tokyoに出展するMakerの熱気に刺激されて、何か作ってみたい！と思った方はこのエリアにお越しください。アメリカのMaker Faireでも人気のLEDバッジのパワーアップ版、Tシャツのカスタマイズなど、Make日本語版編集部とさまざまな方々のご協力による、主に子どもを対象にした気軽なワークショップが体験できます。

- Learn to Solder ～ハンダづけ体験コーナー～ Powered by 株式会社マクニカ
- 不思議な飛びもの手作り自由工作 Supported by 多摩美ハッカースペース
- Maker Factory Supported by MIMAKI/HappyPrinters/FabLab Shibuya
- 自由工作エリア

Maker Classroom

「作ることで学ぶ」を体感しよう

Maker Faire Tokyoに教室が出現！テクノロジーを使った最新の教育ツールから、原始人になったつもりで道具に触れる体験まで、「作ることで学ぶ」授業に参加してみましょう。Maker×STEAM教育をテーマにしたトークセッションも予定しています。ロッカーには学研「〇年生の科学」の歴代ふるくや、littleBits、ヤフーmyThingsの作品が並びます。お子さんだけでなく、教育に携わる方々も、ぜひ立ち寄ってみてください。

ワークショップ

- マルチツールを駆使してツールを作ろう！（学研）
- littleBitsで"まち"を作ろう（littleBits/株式会社コルグ）
- レゴWeDo2.0 プログラミングDE楽しく学ぼう！（株式会社アフレル）
- Fusion 360 ワークショップ（オートデスク株式会社）

トーク

- Arduinoを教育に活かす：作ることによる学び（David Cuartielles氏）
- 50年以上の歴史をもつ科学教材開発の舞台裏（学研）
- メーカーだってハックしたい「コクヨ流・モノハックのススメ」（コクヨ株式会社）

Tinkering Space for KIDS

子どもと遊ぶヒントがいっぱい

今年のKIDSスペースのキーワードは「ティンカリング」。色んなものをいじって考えてみんなは何を作る？ 作って遊ぶ他にも、スライムシンセサイザー、WATA-PON!、SHIBUYA-TSUGIなどMakerたちの楽しい作品も体験できます。つくりたい気持ちが刺激されたら、さあ！ みんなでティンカリングをはじめよう！

Maker FM

会場内のもうひとつの楽しみ方

Maker Faire Tokyoの2日間、会場内だけで聴くことができるミニFM局を開局します。会場のあちこちからの中継の他に、さまざまなプログラムを準備中。みなさん、ぜひFMラジオを持ってご来場ください。パーソナリティ：DJサンシャイン



注目のプログラム

当日は出展者による展示や販売のほか、自作の車を作って競わせる「Nerdy Derby」、自作の小型無人飛行機「FPV ドローンレース」、デイリーポータルZと共催の、技術力の低い人限定のユニークなロボコン「ミニヘボコン」など Maker Faireならではの多様な企画を開催！

Nerdy Derby (ナーディー・ダービー) つくって競う！ルール無用のミニチュアカーレース



ニューヨークから「ルール無用」のミニチュアカーレース大会がやってきました。ワッシャーをタイヤにしたミニチュアカーを自由に作って、長さ50フィート（15メートル）、高さ7フィート（2.1メートル）のコースを走らせて競います。テストコースや本番コースでうまくいかなくても、すぐに工房で改良してまたトライ！ 4つのMaker Faire Tokyo オリジナルコースも登場します。

Nerdy Derby Inc. Supported by FabLab Shibuya
機材協力：株式会社カインズ／学研／株式会社タミヤ

8月6日（土）・7日（日） アトリウム内Maker Field
参加費：300円

ミニヘボコン2016 ～ワールドチャンピオンシップ日本予選会～ ヘボいからこそおもしろい、毎年大人気のロボコン



Maker Faire Tokyo での開催が恒例となった「技術力の低い人限定ロボコンMini（通称：ミニヘボコン）」。今年は試合は1日のみですが、翌日の8月7日（日）に行われる「ヘボコン・ワールドチャンピオンシップ」への日本代表出場権をかけた予選会もかねています。

共催：デイリーポータルZ 協力：株式会社タミヤ

8月6日（土） デイリーポータルZブース前特設会場
参加費：800円

※「ヘボコン・ワールドチャンピオンシップ」はデイリーポータルZ主催のイベントです。
http://portal.nifty.com/kiji/160701196895_1.htm

FPV Drone Race 会場内で繰り広げられる大迫力の生ドローンレース



FPV Drone Raceとは、ドローンに搭載された小型カメラの画像を見ながら操作して競うレース。YouTubeなどで迫力ある動画をご覧になった方も多いと思いますが、生で観戦できる機会はめったにありません。今回は、両日20名のパイロットが予選から決勝まで競います。

協力：FPV RACING JAPAN、演出協力：ヤマハ株式会社

8月6日（土）、7日（日） 西2ホール Drone Race エリア

トークセッション

アメリカよりMAKEファウンダーのDale Dougherty、Arduino 共同創設者でありテクノロジー教育の専門家のDavid Cuartielles氏の基調講演も予定しております。その他、近年注目を集める民間によるロケット開発やDIYバイオについてのプロジェクトをすすめている方々が登壇するプレゼンテーションなど。

David Cuartielles (デイビッド・クァティレス) 氏による基調講演 Arduinoを教育に活かす：作ることによる学び



全世界で最も普及しているオープンソースのツールキット、Arduinoの共同設立者であり、現在は全世界に展開されるArduinoを使った教育プログラム「Creative Technologies in the Classroom (CTC) プロジェクト」の開発ディレクターを務めるDavid Cuartielles氏よりarduino.cc が実施するハンズオン型の教育プログラム「Creative Technologies in the Classroom (CTC) プロジェクト」が数多くの国・学校の教育にどう影響を与えたかなど事例をご紹介します。

8月7日 (日) 12:10-13:20 Maker Classroom

その他、MAKEファウンダーのDale Dougherty (デール・ダハティ) による基調講演も予定しております。

8月6日 (土) 13:30-14:20 西2ホールステージ

“SFにおけるロボット”を活用したMAKE。その現在と未来。 ～攻殻機動隊 S.A.C. タチコマを活用した創作活動の広がり～

アニメ「攻殻機動隊」に登場するタチコマ等を例に、デザイン、ガレージキット、プラモデル、そしてロボットの各領域において、SFにおけるロボットの具現化に挑戦した方々に登壇いただきます。各々の自身の学びを共有していただき、SFを活用したものづくりの現状と今後の展望や課題に関してディスカッションします。

松村礼央 (karakuri products 代表)、寺岡賢司 (アニメーションメカニックデザイナー)、むすけ (原型師)、チーム Partmaton、チーム 青葉山技研

8月6日 (土) 15:00-15:50 西2ホールステージ

宇宙は身近だ：ロケット×衛星 ～民間企業におけるロケット開発／これからの衛星開発～

現在は大規模な工場がなくとも、実際に宇宙につながるロケットや衛星を自分自身の手で作り上げることができます。日本においても、民間企業や大学での開発が進んでおり、大気圏を越えるロケットが誕生する日も目前です。その様子を本トークセッションではご紹介いたします。

Part 1. 民間企業におけるロケット開発：宇宙機エンジニアが語る現在のロケット開発事情。

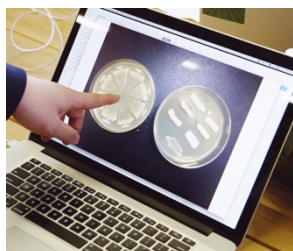
野田篤司 (宇宙機エンジニア) × 和田豊 (千葉工業大学)

Part 2. これからの衛星開発：世界初の芸術衛星ARTSATから、未来の衛星を語る。

久保田晃弘 (多摩美術大学) × 野田篤司 × 和田豊

8月7日 (日) 13:30-14:50 西2ホールステージ

世界で広がるバイオスペースの潮流と国内の状況



近年飛躍的に進展しているバイオテクノロジーは、私たち個人が手元において実験しながら応用の可能性を探ることができるテクノロジー「バイオフィアブ」として世界中に広がりはじめています。自ら学びながらその状況を広げていくための遠隔講義プログラム「How To Grow Almost Anything」や「BioHack Academy」を受講し、実践をはじめている二箇所のバイオスペース運営者が、その国内外の動向を紹介します。

竹村真人 (ファブラボ浜松) / 伊藤隆之 (山口情報芸術センター [YCAM]) / 津田和俊 (山口情報芸術センター [YCAM])

8月7日 (日) 15:30-15:50 西2ホールステージ